

科目名 (科目番号)	医療経済学 (111751)	教員名 椎名 清和	学科等	医療技術	選択	履修年次	4
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		前期水 ⁵ 後期金 ⁵	B217研究室	
授業概要	<p>経済学の理論や経済学の方法、経済学理論の発展の歴史、資本主義経済の歴史と経済学の関係、および現状分析の方法を学びつつ、経済学的なものの方の見方、考え方を身につけ、日常の経済生活から経済のグローバル化に至る経済問題を理論的に考察し得る力を養うことを目的とする。現状分析では経済政策や制度と市場経済の関係なども扱い、新しい視点からの経済分析も行う。これらの総括的な学習を通して医療におけるコスト問題および医療法人の経営などを考察する視点を学ぶ。</p>						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	医療の定義および医療の質と特性	到達目標:患者のQOL(quality of life)や医療の8大特性につき理解する。 学習内容:「狭義の医療と広義の医療とは何か」につき異同を学習する。				
	2	経済の語源と経済学	到達目標:「経世済民(経済)の學」は、今日でいう経済学のみならず政治学・政策学・社会学などきわめて広範な領域をカバーするものであった、ということを理解する。 学習内容:新しい視点からの経済分析について学習し、医療経済学との考え方の融合と共有を学習する。				
	3	医療経済学の基礎	到達目標:医療経済学は、医療問題を扱う経済学の応用分野とされているが、医療サービスの需要と供給の問題として捉えることから各種の問題解消の方策として理解する。 学習内容:一般的な医療問題としてのhealth care economicsについて学習する。				
	4	医療サービスの経済学的特殊性	到達目標:(1)患者・医療従事者間における情報の非対称性の存在。(2)傷病の発生と経過に関する不確実性の存在。(3)外部性と福祉的役割の存在などの視点から理解する。 学習内容:医療サービスの経済学的特殊性について学習する。				
	5	Swot-analysis	到達目標:医療戦略立案の表を作成し、strength/weakness/opportunity/threatに内部環境・外部環境・好影響・悪影響の要素を含めて理解する。 学習内容:Swot-analysisの一般的分析方法から戦略的立案につき学習する。				
	6	BSC:Balanced Score Card	学習内容:業績評価システムとしてのBSC(バランススコアカード)につき学習する。 到達目標:BSCにおける4perspective(4つの視点)について理解する。PDCA-cycleを包含する考え方も理解する。				
	7	医療現場での活用	到達目標:「財務的視点(financial perspective)」、「顧客の視点(customer perspective)」、「内部ビジネス・プロセスの視点(internal-business-process perspective)」、「学習と成長の視点(learning and growth perspective)」の4つの視点の医療現場での活用につき理解する。 学習内容:BSCの4視点を学習する。				
	8	実用例と応用	到達目標:患者中心の医療実現のための戦略ツールとして、円滑な医療サービスの提供とコスト問題や経営についても理解する。 学習内容:Swot-analysisおよびBSC:Balanced Score CardにPDCA-cycleを包含した活用方法を学習する。				
成績評価の方法・基準	レポート(100%)で評価します。						
教科書	医療従事者のための医療経済・経営入門	坂野康昌 編著			理工図書		
参考図書	医療経済学講義 一補訂版	橋本英樹・泉田信行			東京大学出版会		
教員からのメッセージ	<p>経済学等で用いられる分析手法を身につけることは、医療職としての深めたり広げたりすることに役立ちます。また、一人の生活者として、我々自身が「よりよく生きる」ためにも必要な内容だと思います。レポートはコメントを付して返却します。 なお、受講生の人数や進度等により、授業内容の一部を変更する場合があります。</p>						